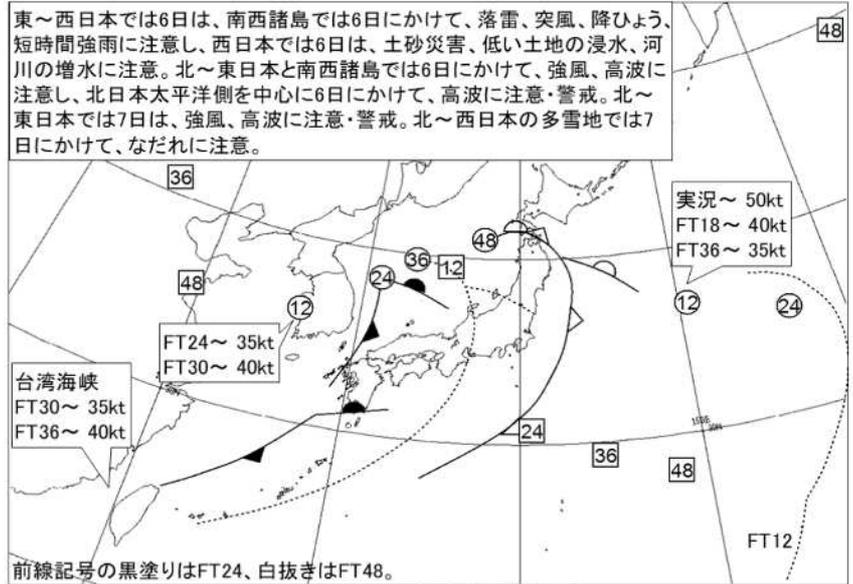


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5400m以下で-24℃以下の寒気を伴う切離低気圧対応の地上の低気圧が日本の東を東北東進。大陸からの高気圧の張り出しとの間で気圧の傾きが急となり、全国的にやや強い風を観測。北日本太平洋側では、この低気圧を波源とする、うねりも影響し、沿岸で約5mの波高を観測。
- ② 500hPa 5460m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが華北で南東進。大陸から張り出す高気圧後面の暖湿気の流入で南西諸島付近では激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②の華北のトラフに対応した低気圧が5日夜までに朝鮮半島付近で発生する。トラフは次第に深まり、6日には500hPa 5340m以下の切離低気圧となり日本海へ進む。トラフ対応の低気圧は、6日朝には前線を伴い、7日朝にかけて渡島半島の西海上付近へ進む。6日朝までに東シナ海で前線が発生し、6日夜までに低気圧からのびる前線と一体となり、7日朝までに東～西日本と南西諸島を通過する。前線に向かう850hPa 309K以上の下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴う激しい雨の降る所がある。東～西日本では6日は、南西諸島では6日にかけて、落雷、突風、降ひょう、短時間強雨に注意し、西日本では6日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意。1項①の日本の東の低気圧は、6日にかけて日本の東へ進む。この低気圧や日本海へ進む低気圧と前線の影響で、強い風が吹き、うねりを伴いしける所がある。北～東日本と南西諸島では6日にかけて、強風、高波に注意し、北日本太平洋側を中心に6日にかけて、高波に注意・警戒。
- ② 7日は、2項①の渡島半島の西の低気圧からのびる前線の閉塞点で新たに発生した低気圧が三陸沖から北海道付近を通過しながらオホーツク海へ北上し、日本海の低気圧は次第に不明瞭化する。7日は、500hPa 5460m付近で-30℃以下の寒気を伴うトラフが朝鮮半島付近から西日本を通り東日本付近へ進み、上空に寒気が広がる。低気圧に向かう下層暖湿気や上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となる所がある。北～東日本では7日は、落雷、突風、降ひょう、急な強い雨に注意し、大雨に注意。7日は低気圧の北上後は西高東低の気圧配置となり、降雪が強まり、非常に強い風が吹き、しける所がある。全国的に7日は、強風、高波に注意し、北～東日本では7日は、強風、高波に注意・警戒。北～東日本では7日は、降雪による交通障害、着雪に注意。北～西日本の多雪地では7日にかけて、なだれに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：東北5、北海道・関東・沖縄4、伊豆諸島・中国・九州南部・奄美3m。

5. 全般気象情報発表の有無

発表の予定はない。